

「川崎国際環境技術展2012」の開催結果報告書

川崎市のこれまでの環境への取組や国内外の企業等の有する優れた環境技術を、急速に工業化が進むアジア地域を中心に広く世界に情報発信し、国際的なビジネスマッチングの場を提供して、環境技術の移転による国際貢献、産業の活性化を目指し、「川崎国際環境技術展2012」を開催しました。

1 日 程 平成24年2月10日(金)、11日(土・祝) 10:00~17:00

2 会 場 とどろきアリーナ

3 主 催 川崎国際環境技術展実行委員会

4 来場者数

2月10日(金) 約6,500人

2月11日(土・祝) 約7,000人 合計 約13,500人(過去最大)

5 開催概要

(1) 出展状況

市内企業を中心に136団体226ブースが出展(出展者数、ブース数ともに過去最大)

- ①環境改善技術関連21団体
- ②廃棄物・リサイクル技術関連11団体
- ③新エネ・省エネ関連25団体
- ④企業等の環境への取組関連20団体
- ⑤国際関連26団体
- ⑥産学官連携関連20団体
- ⑦小品展示6団体
- ⑧川崎市関連5団体
- ⑨屋外出展2団体(電気自動車の展示ほか)



(2) ステージプログラム

低CO2川崎パイロットブランド選定結果発表会、海外ビジネスマッチング成果発表会、環境産業フォーラム、新エネルギー産業セミナー、かわさき環境ショーウィンドウ事業2011表彰式、東海大学によるソーラーカーに関する発表、出展企業プレゼンテーション、かわさきマイスター等によるワークショップ ほか



(3) 企画展示

川崎臨海部をビジュアル的に表した「環境モデルエリア 川崎エココンビナート」、「かわさき環境ショーウィンドウ」の取組、「CCかわさき“エコ暮らし”」キャンペーン紹介



(4) オープニングセレモニー

2月10日(金)午前10時～ とどろきアリーナ内センターステージ

(5) クロージングセレモニー

2月11日(土・祝)午後4時20分～ とどろきアリーナ内センターステージ

(6) エクスカーション

川崎の環境技術を実感する「体験型ツアー」の実施(5コース計96名参加)

(7) 環境出前授業

企業との連携により小・中学生を対象に環境学習会を実施(小学校109名、中学校175名参加)

(8) CCかわさき“エコ暮らし”ツアー

「CCかわさき“エコ暮らし”」のテーマに展示内容や見所を解説する会場内ツアー(計49名参加)

(9) 電気自動車試乗体験会

等々力緑地の外周沿路において試乗会の実施(2日間で計162組参加)

(10) 関連イベント

2月8日(水)、9日(木) 第8回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム

6 海外関係来場者

● 23カ国から184名が参加

○海外招聘者

中国(瀋陽市、上海市、北京市、塩城市、香港ほか)、韓国(テグ市ほか)、ベトナム(ダナン市)、国際連合環境計画(UNEP)、財団法人自治体国際化協会(CLAIR)

○出展関係者

アメリカ(オレゴン州、ノースカロライナ州、ペンシルバニア州)、オーストラリア(クイーンランド州)、中国(瀋陽市、上海市、北京市、塩城市、香港ほか)、デンマーク、ドイツ、韓国(テグ市ほか)

○後援駐日大使館

中国大使館、デンマーク大使館、韓国大使館、ラオス大使館

○後援以外の駐日大使館

モザンビーク大使館、レソト大使館、ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館ほか

7 アンケート結果

●来場者（アンケート回収765件）

○来場の満足度について 「非常に満足」 14.4%（昨年度 6.0%）
「満足」 58.8%（同 55.5%）
合計73.2%の来場者が満足

○次回以降の来場について「来場したい」82.9%（同 78.0%）

●出展企業・団体（アンケート回収105件）

○出展の満足度について 「非常に満足」 18.1%（昨年度14.9%）
「満足」 63.8%（同 59.6%）
合計81.9%の出展者が満足

○次回の出展について 「出展したい」62.9%（同 53.5%）

○ビジネスコンタクト数 国内 約500件
海外 約100件